



古代イスラエルの死海写本(紀元前2世紀から後1世紀)「イザヤ書」59章17節～61章4節
[PAM 7049: 1QIsaiaha, col. XLIX]

1947年の初頭、羊を追って死海沿岸・クムランの切り立った断崖の洞穴へと足を踏み入れた羊飼いの少年が、壺に入った多量の羊皮紙やパピルスの文書を見つけた。

その後数年にわたって調査がなされ、紀元前2世紀から後1世紀にかけて記された旧約聖書の写本、注解書、教団の宗規等が続々と発見された。所謂死海写本の発見である。旧約の本文研究の上では、従来知られていた最古のマソラ本文が11世紀のものだったので、約千年古い写本が出て来たのは画期的なことであった。しかしその後マソラ本文との突き合わせが進むと、むしろ異同個所が余りに少ないので、研究者は一方で拍子抜けし、他方で千年を超える伝承の正確さに改めて驚いている。上は死海写本中、特に保存がいい「イザヤ書」の一部であり、右は、若干マソラとの異同〔マソラの異読を訳では括弧で付す〕がある3行末～7行(59章21節～60章3節)の清書と私訳である。

ואני זואת בריתי אתם אמר יהוה רוחי אשר
עליקה ודברי אשר שמתני בפיקה לוא ימוש
מפיקה ומפי זרעקה ומפי זרע זרעקה מעתה
ועד עולם

קומי אורי כיא בא אורך וכבוד יהוה עליך
זרח כיא הנה החשך יכסה ארץ וערפל
לאמים ועליך יזרח יהוה וכבודו עליך יראה
והלכו גויאים לאורך ומלכים לגנה זרחך

「そしてわたしはこれを、君たち〔彼ら〕とのわが契約とする」とヤハウェは言われる。

「君の上にあるわが霊、わたしが君の口に置いたわが言葉は、君の口からも、君の子孫の口からも、君の子孫の子孫の口からも、今より永遠に至るまで、離れることはない」と〔ヤハウェは言われる〕。

起きよ、光れ。まことに、君の光は来、ヤハウェの栄光が君の上に輝く。まことに、見よ、闇が地を、漆黒が諸民族を、おっている。しかし、君の上にはヤハウェが輝き、その栄光が君の上に現れる。国々は君の光へと、王たちは君の赫々たる輝きへと歩む。

関根清三(「イスラエル学」分野責任者・東京大学)